

本会議での討論

議第60号 令和4年度高島市一般会計歳入歳出決算の認定について

反対

藤田 昭 議員

農産物等輸出拡大施設整備事業について、市は県に補助金の概算払いを請求することなく3億7375万円を一般財源から立て替えた。これらが今日の混乱を引き起こした要因である本決算を認定することは、議会が持つ行政監視機能という最大の権能を放棄することになる。

賛成

中川あゆこ 議員

令和4年度は、財政健全化法に基づく将来負担比率が初めて「将来負担なし」となった。これは、これまでからの行財政改革の取り組みの成果が表れたものであり、今後引き続き、行政サービスの向上に一層努めていただくことを期待する。

反対

福井 節子 議員

農産物等輸出拡大施設整備事業において、事業者に3億7375万円を概算払いをしたが、市長は「成果は得られてない」と答弁されたとおり、「最少の経費で最大の効果」ではなく「最大の経費で、成果ゼロ」の事態を招き、注意義務を怠っており不適である。



本会議での討論

議第61号 令和4年度高島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

反対

森脇 徹 議員

県下13市の中でも市の国保税率は高い。7255万円を基金に積み立て基金残高は4億3900万円にもなっており、この基金を被保険者の負担軽減に使うべきであった。また、マイナンバーカードと健康保険証が一本化されることで、トラブルが全国的に多発している。

賛成

磯部 亜希 議員

平成30年度の制度改正以降、黒字の決算が続いており、医療費の抑制に努め、国保税を増額改定することなく安定した運営がなされている。その努力が国からの交付金の増額にもつながっている。

本会議での討論

議第65号 令和4年度高島市水道事業会計利益の処分および決算の認定について

反対

森脇 徹 議員

市は電力・ガス等価格高騰に対する支援を行った一方で、上水道料金を15%引き上げている。一般家庭の料金は、大口利用者の使用料金より割高である。4878万円もの黒字決算であり、2カ月の使用水量が10㎡以下の一般家庭には減免すべきであった。

賛成

山下 巧 議員

施設の防災対策や統廃合および管路の更新のため、施設の改良や工事の実施等、水道水の安定供給に向けて適切に取り組まれている。当年度純利益は、前年度比較では減少しているが、総じて事業経営への努力がうかがえる。